

スーパーFJ 筑波・富士シリーズ第5戦
2021 SCCN MAY RACE MEETING in TSUKUBA
S-FJ ジャパンチャレンジ 第1戦
2021年 5月 23日 天候:曇り 参加11台



スーパーFJの全国戦「2021 スーパーFJ ジャパンチャレンジ」の開幕戦となる SCCN MAY RACE MEETING in TSUKUBA が5月23日筑波サーキットで開催された。出走11台により覇を競ったが、参加車両を見ると東京R&D製のRD10Vが7台、自動車工房MYST製のKKS2が4台と、鈴鹿以西ではKKS2が圧倒的に多くなっているのに比べ、筑波ではRD10Vが主力車種として活躍している。

さて、3月28日に開幕した2021年JAF筑波／富士スーパーFJ地方選手権シリーズ。九州・沖縄地方から近畿・東海地方に掛けて観測史上最速ペースで梅雨入り宣言される中、レース開催週の半ばまではぐずついた天気が続いた筑波サーキットだったが、決勝当日は幸運にもドライ。第1戦、第2戦とも決勝レースがウェットだっただけに、各ドライバーにとってはようやく本領が発揮できるコンディションとなった。

《公式予選》

第2戦で初優勝を飾った野島遼葵選手からコースインが始まる予選は、序盤から前戦で2位だった安田航選手とのポジション争いが白熱。安田選手が4周目に野島選手の前に出てアタックを開始すると、まるで決勝レースを想定するかのような走りで周回を重ねていく。この2台の影を追うように密かにポジションをアップしてきたのが本田



千啓選手。前戦を7位で終えコースインのポジションが後方だったことを逆手に取り、前後の間隔を大きく確保して自分のペースで周回を重ねて4周目に8番手、5周目には3番手、そして7周目についにトップに躍り出る。

9周目には安田選手がトップを奪い返し、13周目に59秒467のベストタイムを記録。2番手に本田選手59秒524の本田選手、第2戦優勝の野島選手は59秒758で3番手となった。ところが予選後に走路外走行が認定された安田選手は2グリッド降格が決定し、本田選手がS-FJキャリア初のポールポジションを獲得、2番手に野島選手、3番手で安田選手が続くこととなった。

ポールポジション：本田千啓選手（オートルック☆モダン☆10V）

「前の2戦がウェットで、レース運びもうまく噛み合わない部分分がありましたが、前日の練習走行で感じていたフィーリングの良さを再現できるよう挑みました。予選は気が焦って詰め気味になりがちなので、今回は自分の前に目標を置かず、ひとりで走ると決めていたらトップタイムが出たので“これで良いんだ”と自信になりました。その後2台に先行されたのでもう一度アタックしましたが、トップには少し届きませんでしたね。初めてのポールポジションなので、決勝は落ち着いてスタートを決めて逃げ切りたいと思います」

予選2位：野島遼葵選手（Deep-R・10V・ED）

「前日、練習でマシンのセッティング、自分自身のフィーリングともに良好で心理的にも余裕があったので、全力で行くだけという手応えは得ていましたが、1コーナーと1ヘアピンでミスをしてしまいラップタイムをまとめきれなかったのが若干心残りです。マシンには問題はないのでセッティングはこのままで、修正ポイントは明確なので、そこを詰めれば結果は出てくると思います。前戦で初優勝して1位になることを経験できたので、とにかくスタートで前に出て、今戦も1位でゴールすることだけを考えて決勝に臨みます」

予選3番手：安田 航選手（F ガレージ&S ウインズ S11）

「S-FJ デビューイヤーで2戦続けて決勝2位は、悪くない滑り出しと思われるかも知れませんが、自分としては勝たないと意味がないので歯がゆい思いをしてきました。今戦は得意なドライなので、普段の練習の成果を発揮できました。野島選手と2台で走行することで、タイム出しを優先しつつもバックミラーも確認して、決勝レースをイメージしながら13周目のベストタイムにつなげました。けれど脱輪は余計でしたね。決勝は3番手スタートですが、自分のアドバンテージを活かしたレース運びでトップを狙います」

《決勝レース》



予選時に 19.5℃だった気温は 23.6℃になり、路面温度も 25.6℃から 38.2℃まで上昇した午後 12 時 42 分、18 周で争われる決勝レースがスタート。

ポールポジションの本田選手は絶妙なスタートでトップで1コーナーに進入するが、アウトに膨らみかけてステアリングをインに切り増した際に縁石に乗り上げ痛恨のスピン！ 他車を巻き込まない単独スピンだったものの、これによって1周目のポジションは大きく入れ替わる。

ここでいち早く抜け出したのが、1コーナーで無理にインを狙わず、外側からアプローチを仕掛けた野島選手。後続車がスピンを回避する際に1コーナーをいち早く抜け出すことに成功。これに続いたのが予選7番手の秋山健也選手。4列目イン側からスタートして1コーナーのア



クシデントを冷静に見極めた秋山選手は、アウトに逃げる他車と逆にイン側にマシンを滑り込ませて2番手を奪取。3番手には予選6番手の関根陽幹選手、4番手に予選

4番手の武者利仁選手、5番手に予選3番手の安田選手が続くオープニングラップとなった。

秋山選手から安田選手までがひとかたまりとなった2番手グループでは、秋山選手が関根選手の猛プッシュを浴び続けながらベテランのテクニックで隊列を率いる中、6周目に安田選手が武者選手をパスして4番手に浮上。また1周目のスピンで9番手まで順位を落とした本田選手は9周目に1つポジションを回復して8番手となった。



しばらく膠着していた状況が変動したのは15周目。ストレートの伸びの良さに自信を持つ安田選手がバックストレートエンドで関根選手を抜き去り3番手を奪い取る。安田選手はスタートの混乱で順位を落としたものの、他車に対する自車のストロングポイントを的確に把握し、冷静にレースを運ぶことで虎視眈々とチャンスをうかがい、最終ラップのバックストレートエンドで今度は2番手の秋山選手に並びかかり、立ち上がり加速で前に出て開幕から3戦連続で2位表彰台を獲得してみせた。



最終周まで2番手を堅持した秋山選手は3位でゴール。1周目から独走態勢だった野島選手は2位に8秒 881 の差をつけて余裕の2連勝を飾った。



優勝：野島遼葵選手（Deep-R・10V・ED）

「スタートはうまく決まりましたが、1 コーナーは無理にインを狙わず外から攻めていこうと考えていたので、本田選手のイン巻きをうまく避けることができました。その点では見事に思惑通りの展開でした。後は前だけを見て、予選時に懸念していた1 コーナーと1 ヘアピンも自信を持って走行でき、会心の勝利です。これで2 勝となりますが、ライバルの動向もさることながら自分が勝ち続けることでシーズンを有利に進めたいと思います」

2 位：安田 航選手（F ガレージ&S ウインズ SII）

「オープニングラップで順位を落としてしまい、野島選手が先に行ってしまったのは見えていましたが、予選でしっかりタイムは出ているし自分のマシンは速いことが分かっていたので、2 番手グループの中で1 台ずつ抜いて18 周で2 位になるイメージで冷静にレース運びました。走路外走行でポールポジションを失っていなければ、このような結果にはならなかったと思うので、次こそポール to ウィンを実現します」

3 位：秋山健也選手（スーパーウインズ KKS・ED）

「第1 戦、第2 戦とも決勝がウェットだったので、ようやくドライでレースできて良かったという気持ちです。予選は序盤4 番手から7 番手となり厳しい展開を予想しましたが、決勝の1 周目1 コーナーで一気にポジションアップできたのは幸運もありました。前戦に続く3 位表彰台は自信になりますが、今シーズンは速いマシンが多いので、今後も気を緩めることなく経験とキャリアを活かして戦います」





Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ

2021 / 5 / 23 :

正式予選結果表

Weather :曇り

Track :ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	7			本田 千啓	オートルック☆モダン☆10V	RD10V	59.524	15 / 18	0.057	123.681
2	66			野島 遼葵	Deep-R・10V・ED	RD10V	59.758	9 / 20	0.291	123.197
*1 3	52			安田 航	Fカレージ&SウインズS II	KKS2	59.467	13 / 20		123.800
4	13			武者 利仁	ZAP SPEED 10VED	RD10V	59.788	8 / 18	0.321	123.135
5	73			下村 剛司	SウインズKENS2ED	KKS2	59.814	14 / 20	0.347	123.082
6	1			関根 陽幹	オートルック☆10V	RD10V	59.868	18 / 20	0.401	122.971
7	3	MASTER	1	秋山 健也	スーパーウインズKKS・ED	KK-S	1'00.035	9 / 20	0.568	122.628
8	10			坂野 貴毅	ZAPムトゥ・サービス10V	RD10V	1'00.045	15 / 19	0.578	122.608
9	91			澤井 良太郎	ELEVレーシングドリームED	RD10V	1'00.265	14 / 19	0.798	122.160
10	71	MASTER	2	林 寛樹	MURBセンカイレレーシングED	KKS2	1'00.862	7 / 18	1.395	120.962
11	46	MASTER	3	本間 隆史	MATRacing10VED	RD10V	1'00.968	18 / 18	1.501	120.752
***** 以上予選通過 (1'17.457 - 130%) *****										
11				Rocky	オートルック Rocky	RD10V	出走せず			



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ 決勝

2021 / 5 / 23 :

正式決勝結果表

Weather :晴れ

Track :ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time	Lap	Ave. Km/h
1	66			野島 遼葵	Deep-R・10V・ED	RD10V	18	18'12.991		1'00.260	16 / 18	121.242
2	52			安田 航	Fカレージ&SウインズS II	KKS2	18	18'21.872	8.881	1'00.247	10 / 18	120.264
3	3	MASTERS	1	秋山 健也	スーパーウインズKKS・ED	KK-S	18	18'22.051	9.060	1'00.624	16 / 18	120.245
4	1			関根 陽幹	オートルック☆10V	RD10V	18	18'22.179	9.188	1'00.599	16 / 18	120.231
5	73			下村 剛司	SウインズKENS2ED	KKS2	18	18'24.606	11.615	1'00.589	12 / 18	119.967
6	10			坂野 貴毅	ZAPムトゥ・サービス10V	RD10V	18	18'24.949	11.958	1'00.645	13 / 18	119.930
7	13			武者 利仁	ZAP SPEED 10VED	RD10V	18	18'28.999	16.008	1'00.503	13 / 18	119.492
8	7			本田 千啓	オートルック☆モダン☆10V	RD10V	18	18'29.314	16.323	1'00.257	4 / 18	119.458
9	91			澤井 良太郎	ELEVレーシングドリームED	RD10V	18	18'38.375	25.384	1'01.067	13 / 18	118.490
10	46	MASTERS	2	本間 隆史	MATRacing10VED	RD10V	18	18'46.688	33.697	1'01.089	12 / 18	117.616
11	71	MASTERS	3	林 寛樹	MURBセンカイレレーシングED	KKS2	18	19'07.523	54.532	1'02.002	12 / 18	115.480
***** 以上完走 (16Laps) *****												

S-FJ ジャパンチャレンジ日程表

第1戦	5月23日		筑波サーキット	MAY RACE MEETING in TSUKUBA
第2戦	6月13日		オートポリス	ゴールドカップレース
第3戦	8月7-8日	2レース	岡山国際サーキット	S-FJ サマーフェスティバル
第4戦	9月4-5日	2レース	ツインリンクもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース
第5戦	10月9-10日		スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
第6戦	11月20日		富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース